



県土整備部土木設計業務 総合評価方式試行ガイドラインの 改定について



埼玉県 県土整備部 建設管理課

令和3年5月



令和3年度の改定内容

1 運用実績における課題等を踏まえた評価項目等 の見直し

災害防止活動の実績の拡充

企業倫理や信頼性の対象期間の見直し

J V 構成員の技術者表彰実績の評価

落札候補者の決定における評価値の最高点が

2 者以上の取扱い



総合評価方式の種類（実施タイプ）

実施タイプ	内容
技術提案型	重要な業務項目における留意点等について提案を求める「評価テーマ」を提示し、評価テーマに関する技術提案と当該業務の実施方針の提出を求めることによって、品質向上を期待できる業務の場合に適用する。
簡易型（実施方針型）	業務特性に応じ、評価テーマを設定せずとも成果の品質が大きく変わらないと判断され、当該業務の実施方針のみを求めることによって、品質向上を期待できる業務の場合に適用する。
簡易型（実績重視型）	業務実施に関する工夫の余地が少なく、発注者が実施方針を求めることを要さない場合に適用する。



災害防止活動の実績の拡充

ウ 企業の社会的貢献度 (イ) 災害防止活動等の実績

評価項目	評価基準	配点
(イ) 災害防止活動 等の実績 ¹	過去2年度間に当該発注課所 2の求めにより災害防止活動等を行った。 又は、過去2年度間に国土交通省との協定 又は求めに基づき より、当該発注課所 2管内で災害防止活動等を行った。	1.0
	過去2年度間に当該発注課所 2以外の県機関等の求めにより災害防止活動等を行った。 又は、過去2年度間に国土交通省との協定 又は求めに基づき より、当該発注課所 3管外の埼玉県内で災害防止活動等を行った。	0.5
	上記に該当しない。	0

1 評価対象となる災害防止活動等は、補則「災害防止活動等一覧」のとおりとする。

なお、市町村の求めによる活動実績は評価対象としない。

2 「当該発注課所」の記述は、発注者が必要に応じて設定できるものとする。

【令和3年度の改訂】

令和元年東日本台風などで国土交通省との協定はないが、国土交通省の求めにより埼玉県内で活動した企業の実績を鑑み、評価する。



企業倫理や信頼性の対象期間の見直し

エ 企業倫理や信頼性等（減点項目） （ア）入札参加停止措置ほか

評価項目	評価基準	配点
(ア) 入札参加停止措置 1、2、3、 4	過去2年度間及び今年度（公告日までの期間）に「埼玉県の契約に係る入札参加停止等の措置要綱」に基づく入札参加停止措置を受けた。	-1.0
(イ) 総合評価の不履行 1、2、 4	過去2年度間及び今年度（公告日までの期間）の総合評価方式による県発注業務の技術資料の履行確認結果において、「添付資料等で確認した結果、履行されていないことを確認」との通知を受けた。	-1.0
(ウ) 暴力団排除措置要綱に基づく入札参加除外 1、2、3、 4	過去2年度間及び今年度（公告日までの期間）に「埼玉県の契約に係る暴力団排除措置要綱」に基づく入札参加除外措置を受けた。	-1.0

- 1 評価項目とした事項に該当しているにもかかわらず、様式に該当がない旨記載されている場合や様式の添付がない場合には、「虚偽記載」と判断し、失格とする。
- 2 複数の評価項目に該当する場合は、重複評価し減点を合算する。ただし、同一評価項目における複数回の措置については、重複評価せず減点を合算しない。
- 3 入札参加停止措置、入札参加除外措置は、措置を受けた日（期間の始まりの日）で判断する。

~~4 対象期間は、平成30年度から公告日までの期間とする。~~

【令和3年度の改訂】

評価対象期間として評価基準に明記



J V 構成員の技術者表彰実績の評価

評価対象者の過年度実績のうち、J V（経常・特定）の構成員として実施した業務における実績の評価対象は、下表のとおりとする。

管理 技術者	配置予定管理 技術者の技術 能力	(ア) 保有する資格	管理技術者の技術者資格	-
		(イ) 同種・類似業務の実績	過去10年度間の管理技術者としての同種・類似業務の実績	代表構成員の技術者としての実績
		(ウ) 業務成績評定	過去4年度間の管理技術者としての県発注業務の成績の実績点	代表構成員の技術者としての実績
		(エ) 優秀委託業務表彰	過去5年度間に埼玉県県土づくり優秀委託業務表彰(優秀賞・奨励賞)実績	代表構成員 いずれかの構成員
		(オ) 継続教育(CPD)への取組	過去1年度間に、各団体等が推奨する単位以上を取得	-

【令和3年度の改訂】

評価対象者の過年度実績のうち、優秀技術者表彰でJ V構成員の表彰実績を評価対象に加える



落札候補者の決定における評価値の最高点が2者以上の取扱い

例) 加算方式 予定価格 A 円 技術点 16.0 点満点

A 者 技術点 15.0 点 入札価格 B 円

B 者 技術点 14.5 点 入札価格 C 円

評価値 = 技術評価点 + 価格評価点

= $50 \times (\text{技術点} / \text{技術点満点})$

+ $50 \times (1 - \text{入札価格}) / \text{予定価格}$

A 者 $50 \times (15.0 / 16.0) + 50 \times (1 - B / A) = 55.78187$

B 者 $50 \times (14.5 / 16.0) + 50 \times (1 - C / A) = 55.78239$

【現方式】

評価値は小数点以下第四位を四捨五入して、両者55.782として、くじで落札候補者を決定

【改定後】

A 者と B 者の評価値小数点第四位で差が生じるため、B 者が落札候補者

【令和3年度の改訂】

評価値の最高点が2者以上の場合、工事と同様に取り扱う



評価項目の対象年度

評価項目の対象年度

種別	評価項目		評価基準	対象年度		備考	
				ガイドラインVer.2	ガイドラインVer.3		
				令和2年7月以降	令和3年7月以降		
企業評価	ア 企業の技術能力	(ア) 同種・類似業務の実績	過去10年度間	H22～R1	H23～R2		
		(イ) 業務成績評定	過去4年度間	H28～R1	H29～R2		
		(ウ) 優秀委託業務表彰	過去3年度間	H29～R1	H30～R2		
	イ 企業の地域精通度	(ア) 情報収集力	過去5年度間	H27～R1	H28～R2		
		ウ 企業の社会的貢献度	(イ) 災害防止活動等の実績	過去2年度間	H30,R1	R1,R2	
	エ 企業倫理や信頼性等	(ア) 入札参加停止措置	過去2年度間	H30,R1	R1,R2		
		(イ) 総合評価の不履行	過去2年度間	H30,R1	R1,R2		
		(ウ) 暴力団排除措置要綱に基づく入札参加除外	過去2年度間	H30,R1	R1,R2		
	技術者評価	管理技術者	オ 配置予定管理技術者の技術能力	(イ) 同種・類似業務の実績	過去10年度間	H22～R1	H23～R2
(ウ) 業務成績評定				過去4年度間	H28～R1	H29～R2	
(エ) 優秀委託業務表彰				過去5年度間	H27～R1	H28～R2	
(オ) 継続教育(CPD)への取組				過去1年度間	R1	R2	
照査技術者		ク 配置予定照査技術者の技術能力	(イ) 同種・類似業務の実績	過去10年度間	H22～R1	H23～R2	
			(ウ) 業務成績評定	過去4年度間	H28～R1	H29～R2	
			(エ) 継続教育(CPD)への取組	過去1年度間	R1	R2	